

◆◆◆日本ビフィズス菌センター研究奨励賞の募集◆◆◆

(公財)日本ビフィズス菌センターでは、腸内細菌学分野における研究・開発の推進を目的として、「日本ビフィズス菌センター研究奨励賞」を募集しております。皆様方の奮ってのご応募を期待致しております。

2017年4月
公益財団法人 日本ビフィズス菌センター
理事長 清野 宏

日本ビフィズス菌センター研究奨励賞授賞規定

1. 本財団に、日本ビフィズス菌センター研究奨励賞を設ける。(以下奨励賞と称す)
2. 奨励賞は腸内細菌に関する広い分野(腸内細菌学・腸管免疫学・感染防御学・プロバイオティクス・プレバイオティクス等)において、学術上または産業上将来の発展を期待し得る優秀な研究業績をあげた個人に対し授与する。
3. 奨励賞の受賞資格は、前項に規定するもののほか、受賞年の4月1日において原則として満40歳以下とする。
4. 受賞・授賞年の学術集会にて前年度の奨励賞を授ける。
5. 奨励賞の受賞対象業績は、学術誌等に発表されたものとする。なお、過去に当研究奨励賞の受賞対象となった学術論文および特許公報は対象外とする。
6. 奨励賞の受賞対象件数は、原則として毎年2件程度とし、授賞年に開催される腸内細菌学会において、賞状と副賞(10万円)を贈る。
7. 奨励賞の受賞者は、受賞年に開催される腸内細菌学会において、受賞記念講演を行い、その内容を「腸内細菌学雑誌」または「Bioscience of Microbiota, Food and Health」に総説として執筆投稿する。

日本ビフィズス菌センター研究奨励賞受賞候補者の推薦

1. 奨励賞受賞候補者の推薦は、推薦内容に責任が持てる方1名の推薦によるものとする。
2. 受賞候補者を推薦しようとするものは、毎年9月30日までに、候補者の所属氏名・受賞対象課題を明記し、推薦者の署名捺印を付した推薦書(当財団規定のもの)を理事長に提出するものとする。なお、申請課題及び候補者の氏名と所属には英文を付記する。
3. 前項の推薦書には、推薦理由書(A4用紙1枚程度)、研究業績概要(1000字以内・A4用紙使用:手書き不可)及び候補者の略歴(大学卒業、または最終学歴以降)、該当する業績の論文別刷(3編以内)、及び主な研究業績一覧(形式自由)を添付し、纏めた物を10組提出するものとする。なお、提出された書類は返却しない。

日本ビフィズス菌センター研究奨励賞受賞候補者の選考

1. 奨励賞受賞候補者の選考は、奨励賞選考委員会において行う。
2. 奨励賞選考委員会は、理事長が委嘱する7名の委員によって構成される。
3. 受賞候補者の推薦者は、奨励賞選考委員会の委員となることはできない。
4. 委員の互選により、委員長として選出された者は、奨励賞選考委員会の運営を統括する。
5. 奨励賞選考委員会は、受賞候補者の推薦者に対し、推薦理由について説明を求めることができる。
6. 委員会は奨励賞受賞候補者の中から、授賞の価値ありと認めたもの原則として2件以内を選び、その選考結果を、11月30日までに、文書で理事長に答申する。
7. 委員の任期は1年以内とし、当該年度における選考委員会の終了をもって任期満了とする。

日本ビフィズス菌センター研究奨励賞受賞者の決定

1. 理事長は、奨励賞選考委員会委員長からの選考結果に関する報告を受け、常務理事会において受賞者を決定し、受賞候補者推薦者にその結果を通知する。

* 推薦書は下記ホームページからダウンロードできます。

<http://bifidus-fund.jp/shourei/index.shtml>

<申請書類提出先および連絡先>

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-24-12
(公財) 日本ビフィズス菌センター
TEL: 03-5319-2669 Fax: 03-5978-4068
E-mail: jbf@ippec-pub.co.jp